

福岡県農林水産部（林務関係）省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事積算要領

1. 適用範囲

本積算要領は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のうち、実施要領の3に示す対象工種を実施する場合に適用するものとする。

なお、本積算要領は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のための暫定的なものである。

2. 積算方法

発注方法は、受注者希望型とし、当初発注時の計上は行わない。受注者からの協議によりICT建設機械等の認定に関する規程に基づき認定された省人化建設機械（以下、「省人化建設機械（チルトローテータ）」という。）による施工を希望する場合、受注者が発注者へ協議を行い、協議が整った場合は設計変更の対象とし、以下に示す方法により費用を計上する。

(1) ICT活用工事対象工種以外

森林整備保全事業標準歩掛又は森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準において設定されている機械規格を、表1のとおり省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。

なお、施工パッケージ型積算方式標準単価表については、林野庁作成の単価表を参照することとする。

表1 機械規格の入替対応表

入れ替え対象の機械規格	省人化建設機械（チルトローテータ）相当の規格
小型バックホウ（クローラ型） 山積0.13m <sup>3</sup> （平積0.1m <sup>3</sup> ） ※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない	小型バックホウ（クローラ型） 標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13 m <sup>3</sup> （平積0.1 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け
バックホウ（クローラ型） 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ） ※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない	バックホウ（クローラ型） 超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28 m <sup>3</sup> （平積0.2 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け
バックホウ（クローラ型） 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ） ※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない	バックホウ（クローラ型） 後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.45 m <sup>3</sup> （平積0.35 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け

(2) ICT活用工事対象工種

森林整備保全事業ICT活用工事試行積算要領における機械経費のうち、損料又は賃料の対象として施工歩掛が設定されている機械規格を、表2のとおり省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械規格に入れ替えるものとする。

トローテータ) 相当の機械規格に入れ替えるものとする。

なお、その他のICT建設機械経費加算額、システム初期費、3次元起工測量・3次元設計データの作成費用、3次元出来形管理・3次元データ納品、外注経費等の費用は、それぞれのICT活用工事積算要領に従うものとする。

表2 機械規格の入替対応表

対象工種・条件	入れ替え対象の機械規格	省人化建設機械(チルトローテータ)相当の規格
ICT活用工事 (法面工)	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対 策型(2014年規制) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け
ICT活用工事 (作業土工(床掘)) 平均施工幅1m以上2m未 満の土砂の掘削等である床 堀	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排 出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対 策型(2014年規制) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け
ICT活用工事 (土工1,000m <sup>3</sup> 未満)	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 値) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対 策型(2014年規制) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け
ICT活用工事 (小規模土工)	バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第2 次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	バックホウ(クローラ型) 超小旋回型・クレーン機能付 き・排出ガス対策型(第2次基 準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け
	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排出ガス対策 型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	バックホウ(クローラ型) 超小旋回型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け
	小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第2 次基準値) 山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第2 次基準値) 山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> ) チルトローテータ直付け

(3) 機械損料

省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事における積算で使用する機械損料は、表3及び表4を用いるものとする。

表3 機械損料表（換算値・供用1日当たり）

機械名	規格	損料（円）
小型バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13 m <sup>3</sup> （平積0.1 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け	12,200 円／供用日
バックホウ （クローラ型）	超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28 m <sup>3</sup> （平積0.2 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け	19,400 円／供用日
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.45 m <sup>3</sup> （平積0.35 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け	30,700 円／供用日 ※破碎岩補正1.25 33,200 円／供用日

表4 機械損料表（換算値・1時間当たり）

機械名	規格	損料（円）
バックホウ （クローラ型）	超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28 m <sup>3</sup> （平積0.2 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け	4,980 円／時間
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.45 m <sup>3</sup> （平積0.35 m <sup>3</sup> ） チルトローテータ直付け	7,890 円／時間

附 則

この試行工事積算要領は、令和8年4月1日から施行する。